

# 新規就農者の動向について

平成26年8月1日作成  
宮城県農林水産部農業振興課

1 平成25年度の新規就農者数 179名 (うち認定就農者 12名)  
(H25.4.1~H26.3.31)

## 2 新規就農者の推移

年度	新規学卒就農者						Uターン 就農者	新規 参入者	合計
	高校卒	短大卒	宮城県 農大卒	大学卒	その他	小計			
元	5	7	10	1	5	28	4	—	32
5	4	7	17	1	2	31	9	—	40
15	4	8 (6)	13 (11)	3 (3)	3	31 (20)	42 (3)	1	74 (23)
20	7 (2)	1 (1)	28 (25)	2 (2)	0	38 (30)	34 (1)	8 (1)	80 (32)
21	5	1 (1)	16 (8)	2 (1)	0	24 (10)	37 (11)	36 (5)	97 (26)
22	4 (1)	1	7 (3)	3 (1)	5 (1)	20 (6)	35 (4)	47 (3)	102 (13)
23	6	1 (1)	15 (6)	4	2 (2)	28 (9)	17 (3)	68 (4)	113 (16)
24	10	0	16 (3)	9 (2)	3 (1)	38 (5)	54	80 (5)	172 (11)
25	3	1 (1)	13 (3)	8 (1)	5 (1)	30 (6)	37 (2)	112 (4)	179 (12)

- (注) ・平成25年度調査は平成25年4月1日から平成26年3月31日就農者を対象  
 ・平成9年度までは40歳未満を、10年度から17年度までは55歳未満を、18年度は60歳未満を、19年度からは65歳未満を調査対象とした。  
 ・( )内の数値は、新規就農者のうち認定就農者の人数。(就農計画は県知事が認定)  
 ・新規学卒就農者のうち他県の農大卒、専門学校卒はその他に含む。

## 3 新規就農者の動向

- 県全体の新規就農者数は179人で、前年比で7人の増となった。年代別では10、20歳代が93人(前年度84人)、30歳代は53人(前年度65人)、40歳代は27人(前年度19人)となり、30歳代で減少し、それ以外の年代で増加した。
- 新規学卒就農者は30人(前年度38人)、うち宮城県農業大学校卒業者が13人(前年度16人)となり、前年度より減少した。
- Uターン就農者は37人(前年度54人)で、前年度より減少した。
- 新規参入者は112人(前年度80人)で、前年度より32人増加した。新規参入者は、農の雇用事業(被災者向け農の雇用事業等も含む)等の雇用対策を活用した法人等への雇用により増加している。

#### 4 男女別・年代別就農者数

	男	女	10代	20代	30代	40代	50代以上
新規学卒就農者	21	9	4	26			
Uターン就農者	31	6		15	12	8	2
新規参入者	89	23	2	46	41	19	4
計	141	38	6	87	53	27	6

#### 5 農業改良普及センター別新規就農者数

普及セ	新規学卒	Uターン	新規参入	計
大河原	8	7	10	25
亘理	4	1	16	21
仙台	5	8	29	42
大崎	0	7	4	11
美里	5	5	8	18
栗原	0	3	18	21
登米	3	2	13	18
石巻	5	4	12	21
本吉	0	0	2	2
計	30	37	112	179

#### 6 自営就農・雇用就農の別

区分	新規学卒	Uターン	新規参入	計
自営就農	9	22	18	49
雇用就農	21	15	94	130
計	30	37	112	179

#### 7 新規学卒就農者の内訳（30人）

- (1) 学校卒業後すぐに就農したもの： 24人  
宮城県農大卒10人，短大卒2，大学7人，高校3人，その他2人
- (2) 研修後に就農したもの： 6人  
国内研修 3人（うち宮城県農大卒2人，短大卒1人）  
海外研修 3人（うち宮城県農大卒1人，短大卒1，大卒1人）

#### 8 Uターン就農者（37人），新規参入者（112人）の内訳

- (1) Uターン就農者の就農経緯  
在宅離職（他産業の職場に自宅から通勤していた者が離職し，就農） 20人  
他出離職（他産業への就職等で一旦家を離れた者が家に戻り，就農） 10人  
不明 7人
- (2) 新規参入者の出身地  
県内66人，県外18人（青森県1人，岩手県2人，山形県1人，福島県3人，  
埼玉県1人，千葉県1人，東京都4人，神奈川県1人，静岡県1人，大阪府2人，  
国外1人），不明28人